

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和3年5月6日(2021.5.6)

【公開番号】特開2019-173838(P2019-173838A)

【公開日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【年通号数】公開・登録公報2019-041

【出願番号】特願2018-61721(P2018-61721)

【国際特許分類】

F 16 L 23/02 (2006.01)

F 16 J 15/06 (2006.01)

【F I】

F 16 L 23/02 D

F 16 J 15/06 L

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月26日(2021.3.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

径方向に広がる鍔部が端部に設けられた管と、

前記管の外径より大きく、前記鍔部の外径より小さい内径を有しており、前記管の外側に配置されているリング状部材と、を備え、

前記リング状部材の前記鍔部と反対側には、外周側に向けてテーパ面が形成されている、リング付き配管。

【請求項2】

請求項1記載の2個のリング付き配管と、前記2個のリング付き配管を連結する管継手とを備えた管継手構造であって、

前記管継手は、

円筒形状のシール体を備えたシール部材と、

前記シール部材の両端側の環状面にそれぞれ2個の前記リング付き配管の端部が当接した状態で当該リング付き配管の端部とシール部材とを締め付けるクランプと、を備えた、管継手構造。

【請求項3】

前記シール体は、第一の材質の第一環状盤と、前記第一の材質より軟質である第二の材質の第二環状盤とを、前記第二環状盤が両側となるように積層させた積層構造のものであり

前記クランプは、

前記テーパ面に係合するテーパ溝が内側に形成された円弧状の複数のクランプ片と、

前記テーパ溝が前記テーパ面に圧接されるように、前記複数のクランプ片を締め付ける締付手段と、を有する、請求項2記載の管継手構造。

【請求項4】

前記シール部材は、前記シール体の外周面を取り囲む、前記第一の材質より軟質な材質の筒状部材をさらに備えた、請求項3記載の管継手構造。